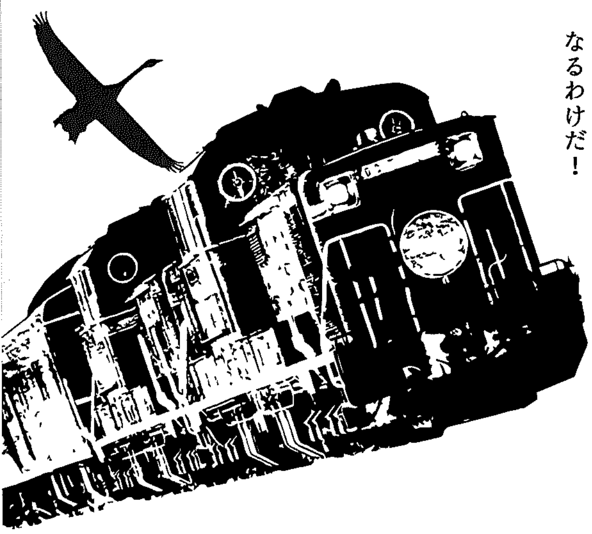
Theatre Group"OCT/PASS" Vol.37
父さん、もっと高く飛べるかい？
飛べたらホンコなのかい？
ブルートレインの夜の路。
果てしなき夜の旅。
父さんはブルートレインの屋根の上で
何を視ようとしたのだろう。
作：石川裕人 演出：小畑次郎（他力舎）
翔人綺想
出演
長谷野勇希
宿利左紀子
大山健治
荒野紘也
X梨ライヒ
横山真
上島奈津子（客演）
2015/12/25・26・27
会場：せんだい演劇工房 10-BOX box-1
助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団 後援：仙台市 主催：TheatreGroup"OCT/PASS" 問：070-5629-6724

SHOUJINKISOU



２０１３年に「流星」を上演した際、チラシに「これぞ、石川裕人ファンタジーの原点！」と書いた。今回演出の話がきたとき、これは引き寄せの法則か？と思ってしまった。

話は今から30年前の１９８５年、「翔人綺想」初演の年。劇団員と29歳の私は、32歳のニュートン（石川裕人氏のアダ名です）とよく酒を飲みながらバカ話に花を咲かせていた。話題は演劇・映画・SF・下ネタ・当時の事件・歴史・夢・オカルト・コミック・小説・恋愛etc…これらの雑談が氏の博覧強記とユーモアのフィルターを通すと、いつの間にかニュートンワールドになっていた。そして、これらの世界を戯曲に書いて舞台にのせると、幻想・夢・冒険がクロスするニュートンファンタジーの完成となるわけだ！

ニュートンのファンタジー　/　小畑次郎

ニュートンはいつもポーカーフェイスだったが、とてもロマンチストでかなりのペシミストでもあり空想癖が強く、それを笑いの内に飲み込んで生きていたのだと思う。宮沢賢治やF・フェリーニ、唐十郎といった幻想世界を描く作家に強く影響を受けたのも当然であろう。

さて、「翔人綺想」である—ひとりの男がブルートレインの屋根にしがみつき新潟から大阪まで約450kmの死にもの狂いの旅をする。果たして、この男の旅とは何だったのか—この作品もやはり「流星」と同じファンタジーの系譜に入り、石川戯曲のキーポイントである。あちらの世界とこちらの世界が交錯する境界をめぐる劇構成となっている。嗚呼、シビレルような狂気とラビリンス！！

そしてもうひとつ、ニュートンは現代お伽草子シリーズにみられるような社会派の一面も強く持っており、そのバックボーンあってのファンタジーなのである。

いやはや…初演から30年の月日が過ぎ、どこからどう見てもオジサンになった私が、当時30を少し過ぎたばかりの青年石川裕人とどう出会えるか？巨人の背中に乗ることができるのか？今からワクワクしている次第であります。

会場：せんだい演劇工房 10-BOX box-1

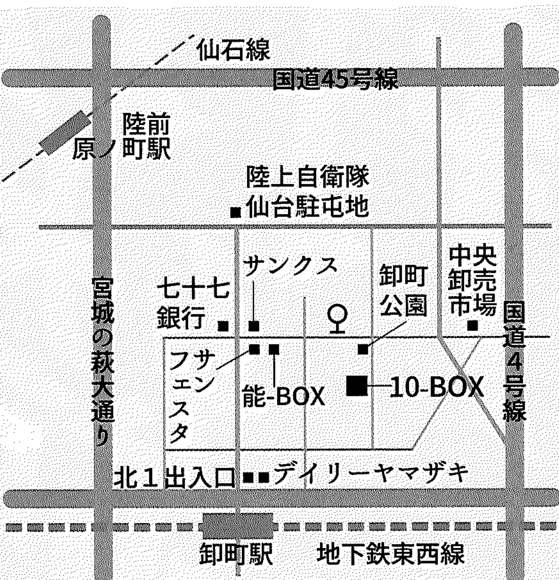
仙台市若林区卸町２丁目 12-9 ☎022-782-7510

◆市営バス　仙台駅西口バスターミナル４番

志波町・卸売市場経由 東部工場団地行 / 志波町・卸売市場経由 霞の目営業所行

バス停「卸町 10-BOX 前」下車、徒歩５分

◆地下鉄東西線「卸町駅」下車　北１出入口より　徒歩約 15 分



日時：2015/12/25（金）19:30

※開場は開演の30分前

26（土）15:00/19:30

27（日）14:00/18:30

11/25（水）10:00 予約開始

チケット：【前売り】一般 2,500円 / 学生 1,000 円
【当　日】一般 3,000円 / 学生 1,500 円
日時指定・全席自由

〈プレイガイド〉せんだい演劇工房 10-BOX、うさぎや
〈メール予約〉お名前・ご来場日時・券種・ご予約人数・ご連絡先を明記して下記メールアドレスにご連絡ください。
〈予約フォーム〉https://tiget.net/users/385 または劇団 HPよりご予約ください。

スタッフ：舞台監督　大山小川
舞台美術　高橋裕介（劇団 I.Q150）
照明　松崎太郎
音響　藤田　翔（キーウィサウンドワークス）
情宣デザイン　χ梨ライヒ
制作　"OCT/PASS" 制作部

助成：公益財団法人仙台市市民文化事業団
後援：仙台市　協力：民族歌舞団ほうねん座
主催：Theatre Group"OCT/PASS"

制作
Theatre Group "OCT/PASS"
070-5629-6724
octpass1995@gmail.com
http://www.oct-pass.com

※チラシ表面の写真は 2002 年上演「翔人綺想」より舞台写真を掲載しました